

1. 教育課程の特色

- 朝学習をモジュール化し授業カウント： 1日10分×5日=1単位時間 年間27単位時間程度
⇒「主体的に学習に取り組む態度」が育つように、自分の学力に応じて学習内容を調整できるように、課題の提示を工夫
例 理科：フォームによる小テストに取り組み、チェックシートで自身の学習を振り返る
数学：AI学習ドリルに取り組み、自分の進度に応じた学習を行う
⇒生み出された余剰時数の有効活用
委員会活動や成績処理などに必要な時間を確保（授業カット）し、生徒の活動する時間を確保したり、職員が授業改善や生徒指導にあたる時間的を確保する
- 中間考査を廃止し単元テストに：「知識」偏重の指導とならないように指導計画等の改善を図る
- 期末対策講座（2年目）：期末考査前の放課後に開設し、1時間程度自由に質問に行ける時間を確保
部活が停止となる 1週間前から自習教室の開放
- 夏季講習（2年目）： 夏季休業日に 4日間（1日3コマ）開催（生徒は最大12コマ受講可能）
全教科で多種多様なコースを開設し、希望した生徒が参加
※三者面談を1学期中に実施し、夏季休業日に時間的な余裕を確保

2. 学習等への相談体制の充実

- 「生徒相談フォーム」の 常時開設： いつでも、どこでも、小さな質問でも質問ができる仕組み
- 1, 2年生の教育相談： 年2回（7月三者面談、12月二者面談）から希望者は 年3回（11月）に機会を増やす
★11月の1、2年生の面談は、相談相手を生徒が選択できるように企画

3. GIGA スクール構想、校務のDX化の推進（日野市研究奨励校2年目）

重点（1）授業改善

- ①研究授業のDX化を図り、時間や場所の制限を超えて、教員が相互に意見を交換し合い、効率よく授業力を高め合える環境づくり。
 - ②デジタルコンテンツやAIドリル等を活用した、個別最適化された学習への改善
 - ③Chromebook（クラウド環境）を活用して情報収集や協働学習、学習成果のアウトプット等を行い、生徒の「思考力・判断力・表現力」を育成する授業改善
- （2）業務改善： 教職員間、教員と家庭、教員と生徒との情報共有をデジタル化
（3）情報活用能力の育成： 課外活動等、多様な場面での生徒の利活用を推進

4. 行事予定 ☆別紙「年間行事予定」参照

- 保護者会や学校公開は対面とオンラインを併用するなど、感染対策を工夫して各行事を運営